

豊南小学校・校長室だより (家庭数配布)

令和3年(2021年)7月6日
発行 中森啓之

人の忠告に耳を傾ける勇気を！！

前号で、子どもの成長にとって「自己肯定感」が大切と述べました。しかし、このように思う方もおられるかもしれません。それは、自己肯定感が高くなりすぎると自信過剰になる、つまり「傲慢(ごうまん)」になってしまうのでは？です。傲慢になってしまうと、せっかく人が忠告してくれているのに、なかなか耳を傾けられなくなります。「自分は偉いものだから、人の忠告などを聞く必要がない！」となるからです。これは、人として生きていく上で、とても損をしていると思います。「謙虚・謙遜」と「自己肯定感」は相反するものですが、どちらも大切。あとはバランスですね。

ある人がこんなことを言っていました。「若い頃より経験年数を経た今の方が仕事に時間がかかる。若い頃は本当に何も分かっていなかったの、仕事に抜けがあることも分かっていなかった。だから早く終わっていた。しかし、経験を積むにつれて、自分の仕事に抜けがあることに気づいていく。そして、その抜けを埋めるために、どうしても時間がかかってしまう。」と。テストの点数に例えると、10点を30点に上げるよりも、80点を100点に上げる方がよほど難しいはず。同じ20点の差なのですが、そのレベルが違いますから。

話をもとに戻しますが、人の忠告に耳を傾けるって勇気のいることです。いったんは自分を押しさえなければならぬから。人が忠告してくれることは分かる、しかし、その忠告を受け入れるのに邪魔をする存在があります。その存在とは、紛れもなく自分自身です。(私もこう言っておきながら、全て人の忠告を受け入れているかと言うと、そうは言い切れません。日々、「自分もまだまだだなあ。」と思いながら生活しています。)

子どもたちに目を向けてみましょう。私たち教員は、日々、子どもたちに指導をしています。しかし、子どもの反応は様々です。素直に「はい。」と受け入れる子、「でも…。」や「あの子にも言ってよ。」と返してくる子。どちらが人としてより良く成長していくか、もうお分かりですね。

まとめに入ります。卒業式の祝辞に私が毎回入れる言葉として「**自分を良くするのも自分、自分を悪くするのも自分**」があります。戦う相手は他人ではありません。自分です。子どもたちには、常に自分と向き合い、ある時は自分に自信を持って、ある時は謙虚に生きていってほしいと願っています。

◇おまけ(豆知識)

よく「年をとると時間がたつのが早く感じる。」って言いますね。なぜでしょう？これは、時間の感覚に刺激の多さが関係しているようです。同じ時間でも、その間の刺激が多ければ長く感じるし、刺激が少なければ短く感じるようです。年をとってくると、日々起こることが、大抵の場合、過去に経験済みのことなので、刺激として捉えられなくなる。結果、時間を短く感じるということになります。同じ生きるなら、やはり刺激の多い生き方をしたくありませんか？刺激を感じるために、常に新しいことにチャレンジしていきましょう！

